

# 台灣日語教育學報

第三十二号

目次

## 【寄稿】

- アクティブラーニングを実践するには  
—主体的な学びの場を支える基礎と実装のアイデア— 栗田佳代子(001)
- 「共にある」ことの2つの意味  
—デジタル化時代のマンガと時間— 石田佐恵子(020)

## 【論文】

- 日本語文科学科における「ビジネス日本語」の試み  
—敬語運用能力と基本ビジネスマナーを中心に— 葉懿萱(044)
- アニメ・アフレコを大体会話授業に導入した実践報告  
—動機づけと自然な日本語口頭表現の学習を目指して— 徐孟鈴  
何宜庭(074)
- 『十二年國民基本教育課程綱要:語文領域-第二外國語文』における  
日本語 Level-1 の教材開発 羅曉勤(104)
- 台湾若年層学習者の社会・生活文脈を中心に—
- 台湾人初級日本語学習者の朗読における  
ポーズ上の問題点と改善策 羅濟立(134)
- 文脈重視の観点から見る非限定的連体節の用法 王世和(162)
- AI 研究の基本的方向性についての考察 落合由治(188)
- 日本語研究及び日本語教育の革新との相關領域を探る—
- 「いま」と「さつき」の使い分けについての考察 陳昭心(218)
- 中国語の“剛才”の意味を表す場合—
- 中国語母語話者による「一」を含む日本語数量詞の産出に  
関する研究—数量表現における日中両言語の異同を焦点に— 陳熾如(248)
- グローバル時代のエコフェミニズムの視点から読む津島佑子の  
『ヤマネコ・ドーム』—許しの文学の誕生— 曾秋桂(274)
- 台湾における文化詞の日本語訳 賴錦雀(293)

## 【附録】

- 附録一：台灣日語教育學報投稿規定..... (323)
- 編集後記 (325)
- 附録二：歷年論文集/學報目次一覽..... (326)

台灣日語教育學會

2019年6月